

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	らいおんハートリハビリ児童デイサービス常陸大宮3号館				公表日	令和 8年 3月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	療育室がやや狭い為、長い廊下スペースをスポット利用して補ったり、テーブルを移動して、広いスペースを作ることが出来るようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	階段や廊下の仕切りに木製衝立を置き、外階段に手すり設置しています。	外階段の老朽化が指摘されていますので、なるべく早く対処していきたいと考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	別室でクールダウンや、個別に話を聴いたりしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者向け評価表より、意向や改善等を職員間で情報共有し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	全員が揃ったところで、問題定義し、極力その場で打開策をまとめるようにしています。また、気付いた事や、関係機関からの情報を職員間で共有出来るようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		外部評価による業務改善は必要だと思っていますが行われていません。今後受けられるようにしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	毎月、職員間での研修を行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	ホームページに公表されており。 (https://kids.lion-heart.co/)	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	送迎時を利用して、保護者様とお話をしたりして、情報収集（ニーズや課題など）や分析等をしたりしています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	活動の内容や実施方法等、事前の話し合いを行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	利用児童に合わせ、職員の動きを事前に確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	ミーティング等で情報共有・支援目標を参考にしています	地域支援・地域連携についての具体的な支援内容や地域性など、認識していない部分が正直多いので、地域の方々に、ご教授して頂くようにしていきたいです。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	年間の見通し、週毎、月毎での計画準備をしてしております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	毎月、新たな活動を1～2種類考え、プログラムのマンネリ化を防ぐようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	動的活動と静的（作業）活動をバランス良く行うよう工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	毎日、主活動責任者が、各職員の担当（児童・役割等）について割り振りをしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	次の日、記録を記入しながら行っています。	時間の関係で当日に行う事ができない為、翌日以降になってしまうので、その点を改善したいと思っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	抜けがないように意識して行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	1		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	作品作りの材料では、色・柄・形等を変えて選ばせています。体育館活動や屋外活動でも、自分がやりたい運動を選択して行うよう、選択肢を与えています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	3		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3	学校へお迎えに行った際には、出来る限り教職員方と会話をし、情報共有等を行っています。	一部の機関とは連携が未だ取れていませんので、今後連携して支援を行っていただけるようにしたいと考えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	お迎え時に挨拶し、相互の様子を伝え合い、情報共有に努めています。子供の変化の気づきに繋がっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4		未就学児の療育を行っていない為、本館（常陸大宮未就学）からの伝達に頼っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	相談支援員を通じて、細やかな内容まで情報提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0		事業所外での活動の機会を考えていきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0		所外活動機会を設け、交流の機会を作って行きたいと思っています。また、地域の交流の機会や放課後児童クラブとの交流など改善が必要だと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4		今後、協議会等へ積極的に参加出来るよう検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送りの際、その日の報告のみにとどまらず、ご家庭で悩んでいる事についてのお話を伺った際には、職員全員で共有し、対策を考えるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		家族で参加出来る研修の機会や情報提供は必要だと感じています。今後行って行けるよう検討して行きます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		支援内容の説明は送迎時になると思いますが、十分な時間が取れない為、思うように行う事ができません。今後改善していけるよう検討していきたいと思います。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	各家庭のお悩み等は、面談や送迎時、お電話等で常時受け付ける環境は整えております。	お悩み等を気軽に相談できる環境を整えていきたいと考えています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	4		保護者同士の交流や兄弟同士での交流する事はとても必要だと考えています。今後交流する機会を設けるよう討ちていきたいと思ます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	内容の詳細把握・情報共有・職員間の話し合い。謝罪など、迅速に行っています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	電話、口頭伝達・Hugシステムの利用・紙面に書いたもの等、重複して伝えるようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		事業所の地域住民を招待する等、事業運営は必要だと考えております。積極的に地域活動に参加出来るよう今後検討して行きたいと思っています。(やはり利用していることを、知られたくない御家族様もいるので、慎重にすすめて行きます)
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCPの策定、及び年2回、本館（常陸大宮）と合同で、地域の消防署にも来てもらい、避難訓練等の実施をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	現在は該当者は有りません。ピーナツ菓子等は、あえて提供していません。	アセスメントを記入して頂いているだけの御家族様もいるので、医師の指示書を頂いているのであれば、提供して頂き、確認、対応していきたいと思ます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	日誌やお便りでの報告が来ています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	職員全員で、出来事の原因と詳細について把握し、分析に努めています。場合によっては児童の心理状態も含めて検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			